

2012:日立 0.25TオープンMRI装置AIRIS Soleil発売



- 操作性
 - GUIとDICOM通信を使って患者情報の入力を簡素化
 - サジェスチョンUIにより撮像条件の変更を補助
 - 寝台の上下動・前後動をフットスイッチで操作
- Radial scan技術RADARによりモーションアーチファクトの低減を図った。
- 省スペース・省ランニングコスト
 - 漏洩磁場範囲が小さく撮影室をコンパクトにすることが可能で、機械室の不要なので省スペースとなる。
 - 小さい電源設備で運用が可能なので月々のランニングコストを低く抑えることができる。